



私の養育態度のタイプは？

養育態度とは、親の態度や行動のことで、子どもの情緒的な発達や社会性、認知能力に大きな影響を与えます。ポジティブな養育態度は、子どもが健全な視点や人間関係を築く手助けになりますが、ネガティブな態度は成長に悪影響を及ぼすことがあります。そのため、自分の養育態度のタイプを理解し、改善方法を見つけることが大切です。以下の内容を参考に、より良い育児環境を作っていきましょう。

私はどんなタイプの親でしょうか？

許容的タイプ

“子どもが望むことは何でも叶えてあげたくくなります。親心として、何でもしてあげたいと思うものです。”

- 親は愛情深く、よく反応してくれるが、しつけにはあまり厳しさが無い
- 子どもは自信にあふれていることがある
- 子どもは規律を守らず、自己中心的な性格に育つことがある

放任的タイプ

“仕事が忙しすぎて、子どもたちにあまりかまっていられず、どう遊んであげればいいのかもよく分からないんです。”

- 親は愛情がなく、関心も薄く、しつけも厳しくない
- 子どもは自立心に欠け、依存的になりやすい
- 子どもは自制心が弱いことがある

独裁的タイプ

“子どもが言うことを聞かなかったり、わがままを言ったときには、愛の鞭を使うのが正しいのでは？”

- 親は厳しく子どもを管理し、理由もなく体罰を与える
- 子どもは社会性が乏しかったり、依存的・反抗的な性格になることがある
- 人間関係で悩みやすい子どもになることがある

権威的タイプ

“子どもに約束を守るように説明しながら、ルールを守らせつつ、愛情表現やほめることも一緒にしています。”

- 親は愛情深く、子どもの気持ちにきちんと応え、一貫して論理的にしつける
- 子どもは責任感や社会性、自信が高くなることもある

私にはどんな態度が必要？

自分の養育態度がどのタイプに近いかわかったら、子どもの発達に役立つように養育態度の改善方法を調べ、できそうなことから一つずつ実践してみてください。

許容的態度

行動の限界を設定する 行動基準の提示

してはいけない行動には一貫して対応することで、子どもが親の権威に挑戦する行動を抑えられます。

我が家のルールを作る ルール適用

ルールには、子どもの自立心を育て、やるべき行動を明確に示す効果があります。

会話をする 子どもと会話

子どもは親との会話を通じて、言葉だけでなく、他者との関わり方や感情の表現・コントロールの方法も学びます。

放任的態度

遊ぶ 子どもと遊ぶ

子どもは遊びながらストレスを発散し、多くのことを学ぶため、遊びは非常に重要な学習の機会です。

独裁的態度

肯定的なしつけをする 正しい行動を褒める
..... 体罰禁止

子どもは、親から褒められた行動をもっとしようとして、一方、体罰は子どもの情緒発達に悪影響を与え、親子関係を悪化させるため、問題行動がさらに深刻になることがあります。

子供の権利を尊重する 選択の機会を提供
..... 日程案内

自分で選択する過程を通して、子どもは責任感を学び、前向きな自己概念を育むことができます。一日の予定が予測可能なとき、子どもは安心感を持ち、自分の行動をあらかじめ調整することができます。